

令和7年度事業計画

わが国の経済は賃金上昇が物価上昇を上回り、個人消費が増加するとともに企業の設備投資も堅調な動きが継続する見込みです。その一方で、米国経済は高めの成長ベースが続き、その恩恵は世界経済に波及しますが、保護主義政策や米国の高インフレ高金利の継続は世界にインフレが伝搬すると言われています。

また4年目を迎えたウクライナ紛争関連、そしてトランプ関税問題やコメを中心とした農産物の高騰があらゆる製品の価格上昇圧力となり、早期の紛争終結が望まれます。建設業界も資材価格の上昇という影響がでていますが、魅力ある建設業とするためにも適正な工事原価をベースとして働きやすい環境を構築し、安全安心な体制を進めていくべきと考えます。

そして若年労働者を業界に迎えるために、「働き方改革」による時間外労働の上限規制を遵守し、私どもも上部団体の日本空調衛生工事業協会が作成した「働き方改革の推進に関する行動計画」にのっとり、計画的に時間外労働の削減を継続する必要があります。

これを機に官民一体となって建設業の現場閉所による週休二日の機運が高まり、若者にとって魅力ある職場となることを願います。加えて効率化や省力化のためのDXの推進や、新たに始まるASPシステムによる無駄のない相互確認が確実となる官民の連携が今こそ求められています。

私どもは、県との災害協定による支援業務はもちろんのこととし、県の防災計画に沿った実践的な支援体制の整備を進めていきます。台風などで罹災した市町村へのボランティア派遣などで実績を積んでいるところです。

次に研修の充実ですが、業務研修会等で継続教育CPD制度の受講機会を増やし、参加しやすい時期の開催などで会員の資質向上に努めます。長年継続しております京葉工業高等学校への出前講座、CCI（千葉県魅力ある建設事業推進協議会）での小中学校への出張授業参加、千葉ポートパークの県土クリーンキャンペーン、国や千葉県との意見交換会などの更なる充実を図ります。

時代がめまぐるしく変化するなかで、千葉県空調衛生工事業協会は、快適空間の創出と地球環境の保全を担う産業としての誇りを持ち、優れた技術と品質の確保及び「顧客満足度の向上」を最大の目的として、市場環境の変化に対応する経営改革に取り組んでいます。

いまこそ私たちの業界が力を発揮し、その役割、存在感を社会に示す素地は確実に高まってきています。体育館などの教育施設空調設置の重要性が再認識されているなか長年培ってきた省エネ、省CO₂に関する技術をさらに磨き「低炭素社会構築」の先導役を果たしてまいります。

さて令和7年度の実業計画ですが、国県市等の指導を仰ぎながら、空調衛生工事業界の地位向上と会員企業の共存共栄を事業運営の基調とし、日空衛等の関係機関との連携の強化を図るとともに、会員各位の参加と協力を得ながら次記の実業を展開いたします。

記

I. 公益目的事業(実施事業等会計)

1. 安全衛生に関する研修事業
 - ・ 労働安全衛生研修会の開催
2. 地域貢献事業
 - ・ 県土クリーンキャンペーンの実施

II. 共益目的事業(その他事業会計)

1. 会員交流・福利厚生事業
 - ・ 賀詞交歓会の開催
 - ・ 千葉空衛ゴルフ大会の開催
2. 建議請願事業
 - ・ 国関係機関、県市等への陳情活動の推進
 - 直接(分離)発注の維持、推進
 - 適正価格、適正工期での発注推進
 - 改正品確法の周知等
 - 会員の優先指名
 - ・ 会員からの要望による随時陳情の推進
 - ・ 県土整備部・千葉県空衛協会との意見交換会の開催(営繕関係5課)
 - ・ 県土整備部・建設産業団体連合会(建産連)との意見交換会への参加
 - ・ 国交省関東地方整備局・日空衛関東支部との意見交換会への参加
3. 他団体との交流・情報収集事業
 - ・ 建設産業団体連合会(建産連)が実施する活動への参加
 - ・ C C I (千葉県魅力ある建設事業推進協議会)が実施する活動への参加
 - ・ 日空衛、東京空衛との連携及び情報交換
 - ・ 日空衛関東支部連絡協議会への参加
4. 共益研修事業
 - ・ 業務研修会の開催
 - ・ 技術研修会の開催
5. 災害支援事業
 - ・ 千葉県との災害支援基本協定に基づく災害時の支援体制の確保
6. 広告・宣伝・人材育成等その他の事業
 - ・ 入職支援事業としての出前講座の実施
 - ・ 機関紙「千葉空衛」の発行(年間6回)
 - ・ 希望会員への日空衛機関紙「空衛」の配付
 - ・ 千葉空衛ホームページの更新・充実
 - ・ 行政機関、関連団体からの通告、通知文書の周知